2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月13日

上場会社名　スターツ出版株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7849　URL https://starts-pub.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 菊地 修一
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役管理部長　(氏名) 金子 弘　TEL 03-6202-0311
四半期報告書提出予定日　2024年5月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,218	8.1	667	7.7	671	7.7	482	△6.6
2023年12月期第1四半期	2,052	45.9	619	161.3	622	155.4	517	268.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	125.73	―
2023年12月期第1四半期	134.66	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	10,873	8,567	78.8	2,231.23
2023年12月期	10,587	8,170	77.2	2,127.97

(参考) 自己資本　2024年12月期第1四半期　8,567百万円　2023年12月期　8,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	―	―	―	60.00	60.00
2024年12月期	―				
2024年12月期 (予想)		30.00	―	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年 1月 1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	0.5	1,100	1.6	1,180	1.9	900	0.2	234.39
通期	8,500	1.9	2,400	5.6	2,500	5.6	1,820	2.4	474.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	3,840,000 株	2023年12月期	3,840,000 株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	383 株	2023年12月期	336 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	3,839,630 株	2023年12月期1Q	3,839,693 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP．3「1．当四半期決算に関する定性的情報の ⑶ 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善の動きが見られる等、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等による海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という経営ビジョンのもと「文化と笑顔の需要創造」をミッションに掲げ、紙・電子出版による書籍、コミック、雑誌の発行、「野いちご」等の小説サイトの運営、女性向けＷＥＢサイト「オズモール」での情報発信や施設予約サービスの提供、イベント開催等とそれらを掛け合わせたＰＲ・販促ソリューションの提供を軸として事業を運営してまいりました。

このような営業活動の結果、当第１四半期累計期間の売上高は22億18百万円（前年同期比8.1％増）、営業利益は６億67百万円（前年同期比7.7％増）、経常利益は６億71百万円（前年同期比7.7％増）、四半期純利益は４億82百万円（前年同期比6.6％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

＜書籍コンテンツ事業＞

書籍コンテンツ事業では、自社で運営する小説サイト「野いちご」「ベリーズカフェ」「ノベマ！」を起点に、独自のマーケティングにより恋愛小説から異世界ファンタジー、ライト文芸まで幅広いジャンルの作品を書籍・コミックとして発刊しております。

当第１四半期累計期間は、書籍・コミックの発刊点数の増加、マーケティングの徹底による読者ニーズに沿った商品展開、映像化等のＩＰ展開やＳＮＳ等を活用した販促施策に注力してまいりました。書籍・コミックの売上高は、ライト文芸レーベル「スターツ出版文庫」、異世界ファンタジーレーベル「グラストコミックス」、大人向け少女コミックレーベル「ｎｏｉｃｏｍｉ」が順調に売り上げを伸ばしたこと等により増加いたしました。個別のコンテンツでは、昨年12月に映画が公開された小説「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」、1月に第３弾が発刊された「すべての恋が終わるとしても」、１月に紙コミック第４巻が発刊された「鬼の花嫁」等が業績に寄与いたしました。

このような営業活動の結果、書籍コンテンツ事業の売上高は14億13百万円（前年同期比10.1％増）、営業利益は６億81百万円（前年同期比4.6％増）となりました。

＜メディアソリューション事業＞

メディアソリューション事業では、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、当社独自の基準で厳選したレストラン、ビューティサロン、宿泊施設等の施設予約サービスを提供する「オズのプレミアム予約」と、「オズモール」「オズマガジン」「メトロミニッツ」等の東京地域密着の自社メディアとＳＮＳ、リアルイベント等を組合わせたＰＲ・販促ソリューションを展開してまいりました。

「オズのプレミアム予約」では、利用者満足度の高い施設の開拓と予約プランの開発、名阪エリアの予約可能施設の拡大、ＳＥＯ等のユーザー集客施策の強化、クーポン施策等のユーザー満足度の向上に注力してまいりました。また、２月より大人数の宴会等の予約をコンシェルジュがサポートする宴会・貸切予約サービスを本格スタートするなど新たな取組みも実施しております。当第１四半期累計期間の売上高は、レストラン予約の売上が好調に推移したことにより前年同期と比較して増加いたしました。

ＰＲ・販促ソリューションでは、「オズマガジン」等の東京地域密着メディアのブランドを活用した商業施設向けの集客支援、自治体向けのお出かけ支援、ヘルスケアマーケットへの販促支援サービスの提供等に注力してまいりましたが、前年同期と比較して売上高は横ばいとなりました。

このような営業活動の結果、メディアソリューション事業の売上高は８億４百万円（前年同期比4.6％増）、営業利益は36百万円（前年同期は営業利益０百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第１四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて２億86百万円増加し、108億73百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が２億14百万円増加した一方で、売掛金及び契約資産が１億48百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べて69百万円増加し、94億68百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末と比べて２億16百万円増加し、14億５百万円となりました。

（負債）

当第１四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて１億10百万円減少し、23億６百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が１億51百万円、買掛金が１億24百万円減少した一方で、賞与引当金が１億８百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べて１億28百万円減少し、21億50百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べて17百万円増加し、１億56百万円となりました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末の純資産は、利益剰余金が四半期純利益の計上により４億82百万円増加した一方で、配当金の支払により２億30百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べて３億96百万円増加し、85億67百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ２億14百万円増加し、50億59百万円となりました。

当第１四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額３億34百万円、仕入債務の減少１億24百万円、棚卸資産の増加28百万円等による資金の使用の一方で、税引前四半期純利益６億71百万円、売上債権の減少１億48百万円等の資金の獲得により、４億59百万円の資金を獲得（前年同四半期は３億85百万円の資金を獲得）いたしました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、「オズモール」のシステム開発等の無形固定資産の取得等により、18百万円の資金を使用（前年同四半期は11百万円の資金を使用）いたしました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、２億25百万円の資金を使用（前年同四半期は１億13百万円の資金を使用）いたしました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2024年２月13日発表の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載しました第２四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2023年12月31日）	当第１四半期会計期間 （2024年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,844,573	5,059,169
売掛金及び契約資産	2,738,045	2,589,116
製品	82,610	107,836
仕掛品	44,583	47,694
返品資産	110,923	115,841
前払費用	20,451	39,144
関係会社預け金	1,500,000	1,500,000
その他	59,171	10,688
貸倒引当金	△907	△904
流動資産合計	9,399,452	9,468,587
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	34,502	33,444
工具、器具及び備品（純額）	16,998	15,499
有形固定資産合計	51,501	48,944
無形固定資産		
商標権	344	312
ソフトウエア	123,172	129,346
ソフトウエア仮勘定	28,451	27,243
電話加入権	2,376	2,376
無形固定資産合計	154,344	159,278
投資その他の資産		
親会社株式	634,854	738,606
投資有価証券	203,474	307,515
差入保証金	84,014	83,014
前払年金費用	12,932	26,224
その他	46,991	41,472
投資その他の資産合計	982,267	1,196,833
固定資産合計	1,188,113	1,405,056
資産合計	10,587,565	10,873,644

（単位：千円）

	前事業年度 （2023年12月31日）	当第１四半期会計期間 （2024年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	553,261	429,000
未払金	123,649	124,659
未払費用	38,938	58,231
未払法人税等	405,672	253,877
未払事業所税	4,431	1,144
未払消費税等	107,970	95,341
前受金	10,871	6,112
預り金	28,783	29,731
賞与引当金	32,000	140,000
返金負債	845,137	882,601
ポイント引当金	127,660	129,573
流動負債合計	2,278,376	2,150,273
固定負債		
繰延税金負債	77,088	91,781
役員退職慰労引当金	61,400	64,525
固定負債合計	138,488	156,306
負債合計	2,416,864	2,306,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	6,559,022	6,811,414
自己株式	△503	△688
株主資本合計	7,635,518	7,887,725
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	535,182	679,338
評価・換算差額等合計	535,182	679,338
純資産合計	8,170,700	8,567,064
負債純資産合計	10,587,565	10,873,644

（２）四半期損益計算書

（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年３月31日）
売上高	2,052,431	2,218,311
売上原価	916,750	946,624
売上総利益	1,135,680	1,271,686
販売費及び一般管理費	515,802	604,342
営業利益	619,878	667,344
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,103	1,957
雑収入	971	1,911
営業外収益合計	3,074	3,868
営業外費用		
為替差損	1	3
営業外費用合計	1	3
経常利益	622,950	671,209
税引前四半期純利益	622,950	671,209
法人税、住民税及び事業税	139,935	237,380
法人税等調整額	△34,035	△48,942
法人税等合計	105,899	188,437
四半期純利益	517,051	482,772

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	622,950	671,209
減価償却費	16,475	15,590
貸倒引当金の増減額（△は減少）	418	△3
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,500	3,125
賞与引当金の増減額（△は減少）	82,500	108,000
返金負債の増減額（△は減少）	△9,412	37,464
ポイント引当金の増減額（△は減少）	20,238	1,913
受取利息及び受取配当金	△2,103	△1,957
売上債権の増減額（△は増加）	261,921	148,929
棚卸資産の増減額（△は増加）	2,681	△28,337
返品資産の増減額（△は増加）	2,201	△4,917
その他の資産の増減額（△は増加）	△55,805	△28,326
仕入債務の増減額（△は減少）	△107,001	△124,261
未払金の増減額（△は減少）	△15,005	△3,218
未払消費税等の増減額（△は減少）	△59,042	△12,628
その他の負債の増減額（△は減少）	13,506	12,195
その他	△13,573	△2,669
小計	763,451	792,105
利息及び配当金の受取額	2,103	1,957
法人税等の支払額	△379,865	△334,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,688	459,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△321	△768
無形固定資産の取得による支出	△10,937	△17,404
保険積立金の積立による支出	△694	△694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,953	△18,867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△112,946	△225,805
自己株式の取得による支出	△70	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,017	△225,990
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	260,718	214,595
現金及び現金同等物の期首残高	3,353,902	4,844,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,614,621	5,059,169

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期累計期間（自　2023年１月１日　至　2023年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益計算書計上額
	書籍コンテンツ事業	メディアソリューション事業			
売上高 顧客との契約から生じる収益	1,283,751	768,680	2,052,431	－	2,052,431
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	1,283,751	768,680	2,052,431	－	2,052,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,283,751	768,680	2,052,431	－	2,052,431
セグメント利益	651,449	634	652,083	△32,205	619,878

（注）１．セグメント利益の調整額△32,205千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自　2024年１月１日　至　2024年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益計算書計上額
	書籍コンテンツ事業	メディアソリューション事業			
売上高 顧客との契約から生じる収益	1,413,938	804,373	2,218,311	－	2,218,311
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	1,413,938	804,373	2,218,311	－	2,218,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,413,938	804,373	2,218,311	－	2,218,311
セグメント利益	681,632	36,319	717,952	△50,607	667,344

（注）１．セグメント利益の調整額△50,607千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。